

## 高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	高松市庵治ほっとぴあん		
指定管理者	株式会社オクト	施設所管課等	保健医療政策課
指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市庵治町978番地		
施設の概要	(建物)鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階建 (職員の状況)施設管理員1名、パート社員12名 (開業時間)浴室及び娯楽室:13:00～21:00 健康増進器機室:10:00～20:00 月曜日・年末年始は休業	業務の概要	施設及び設備の維持管理に関する業務 保守管理、環境維持管理、防災・安全確保等 施設の使用申請に対する許可及び取消し等に関する業務 施設利用の促進に関する業務

	項目名	令和6年度	令和5年度	項目名	令和6年度	令和5年度
利用状況等	入浴者数	12,316 人	12,790 人			
	カラオケ利用者数	330 人	312 人			
	健康増進器機室利用者数	4,076 人	4,571 人			
収支状況等	指定管理料	20,170 千円	19,921 千円		千円	千円
	収入実績(総額)	26,635 千円	25,669 千円	支出実績(総額)	26,635 千円	25,669 千円
	利用料金	6,465 千円	5,748 千円	収支差引	0 千円	0 千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	安全安心な施設維持管理、保守業務に取り組んだ。職員全員で危機管理についてのミーティングを行いお互いの意識向上を図った。 個人情報については職員への指導周知により適正に管理・厳守した。 環境への配慮した取組としてゴミの分別リサイクルを徹底している。	B
	②-1個人情報の保護・情報公開		
	②-2環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	庵治町の住民の方はもとより町外の方にも利用してもらえるよう利用促進に務めた。 昨年に引き続き「ウエルパーる高松」の割引施設として契約を行い知名度アップを図ることが出来た。 高齢者用の入浴椅子を置いたり滑り止めのマットを敷くなど利用しやすくなれた。	B
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	庵治広報に毎回広告掲載を行なうPRに務めた。企画事業として昨年に引き続き「夫婦の日」「くじ引きの日」を実施する。 自主事業として「ゆったり体操教室」「美・Body教室」「フラダンス教室」を各2回/月開催して好評である。 地域団体とタイアップして色々なイベントに協力して無料入浴券等発行して喜ばれた。また地元農家さんの協力で新鮮で安いお野菜マルシェを毎日3階ロビーにて行い利用客に大変喜ばれている。 利用者アンケートを行い要望、意見を把握でき実行できるものは行った。	A
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	地元の高齢者雇用に貢献出来るよう、引き続き地元の広報にも求人募集広告を掲載して職員の確保に努めている。 職員同士のコミュニケーションを図り適切な施設運営に努めた。また、無理のないシフト体制を行い有休取得にも努めた。 施設経費については随時細かくチェックを行い経費削減に努めた。古い機械の修理を積極的に行い健全な稼働が出来るようにした。 賠償責任保険に加入して万一の事故に備えている。 会計事務所の指導のもと適切な執行管理に努めている。	B
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む)		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	入浴料金の値上げにより収益は増加しているが灯油価格や電気料金の高騰もあり厳しかったが節約できるところは節約して経費削減を目指した。 全員パート社員なので仕事内容により最低賃金にプラスしたり、日・祭日の勤務にもプラスして支給している。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
高松市中小企業労働者福祉共済事業である「ウェルバル高松」の割引施設として認定を受けたことや、積極的な庵治広報誌への広告掲載や地域イベントを活用した宣伝など、施設利用促進のために意欲的な取組ができている。引き続き、情報発信に努め、町内外の利用者の促進に努めていただきたい。 また、物価・燃料の高騰によりコスト面の抑制が難しいところであるが、ボイラーの点火時間を季節に応じてずらすことで、灯油の使用量を減らしたり、これまで委託していた作業や軽微な修繕を管理者自身で行ったりすることで、経費削減が実現できているほか、職員(パート・アルバイト)については、庵治町の住民を中心採用しており、地域貢献を果たしているとともに、最低賃金以上の支給が出来たことは高く評価できる。 加えて、利用者からの要望や意見を反映し、施設の目的を踏まえた多彩な事業を実施しており、地域と連携した企画や、時に合わせた自主事業を開催する工夫が見られる。 今後においても、施設の老朽化に伴う維持コストの増加が想定されるため、市とも協議しながら、庵治町の豊かな自然を生かした健康福祉の拠点施設として利用が活性化するよう、更なる効率的な管理運営と利用拡大による価値向上について検討していただきたい。	B